

市民科学講座

黒毛和牛の生産現場から、 畜産の未来を考える

2024年 11月25日(月) 18:30~20:30 (開場 18:00)

講師：木之下明弘 さん (鹿児島県立農業大学校 畜産学部長)

●会場：光塾 COMMON CONTACT 並木町 [東急・メトロ渋谷駅 C2 出口から徒歩 5分]

(東京都渋谷区渋谷 3-27-15 光和ビル地下 1階)

●参加費：1000円 (学生 500円) /事前予約が必要です (定員 40名)

お申し込みは
市民研ホームページ
www.shiminkagaku.org
の専用サイトで
受け付けています



国内外に知られる黒毛和牛の生産県、鹿児島県で畜産農家および肉用牛農家後継者を指導している専門家の木之下明弘さんに、良質な和牛肉を生産するうえで実施している最先端の生殖技術や技能者の育成など、生産現場ならではの話を語っていただきます。

食肉生産のなかでも特に消費者に嗜好される黒毛和牛は、海外にも輸出されることもあって、その品質確保のため力が入り、種牛の精子を使った体外受精や借腹牛への移植、出産などさまざまな工夫と管理によって可能になっています。講師の木之下さんは、これらの技術の指導のほか、飼育環境の改善や IT による管理技術、若手の畜産就農者への教育などにも熱心に取り組んでいます。

「いのち」をいただく食のなかでも、和牛の飼育、生産の現場での取り組みはふだん都会の消費者には知る機会が少ないだけに、生産者側との対話・交流によって、これからの畜産を考える機会にしたいと思います。

木之下明弘さん:鹿児島県農業開発総合センター 農業大学校畜産学部 畜産学部長 兼 教授.専門:牛の家畜繁殖分野(主に、受精卵移植,人工授精等)



●呼び掛け・賛同人：

佐藤年緒 (日本科学技術ジャーナリスト会議理事)

生源寺眞一 (東大・福島大名誉教授 (農業経済学)、講評予定) 上田昌文 (NPO 法人市民科学研究室・代表)

●問い合わせ：佐藤年緒あて電子メールにて sttoshi@gmail.com